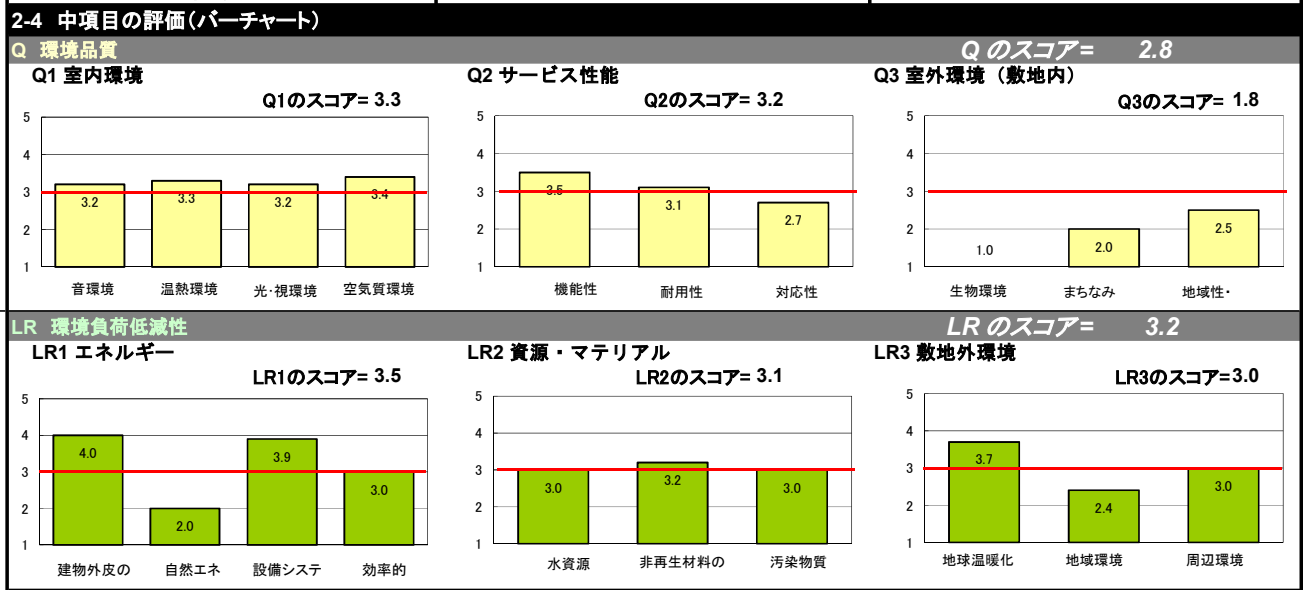
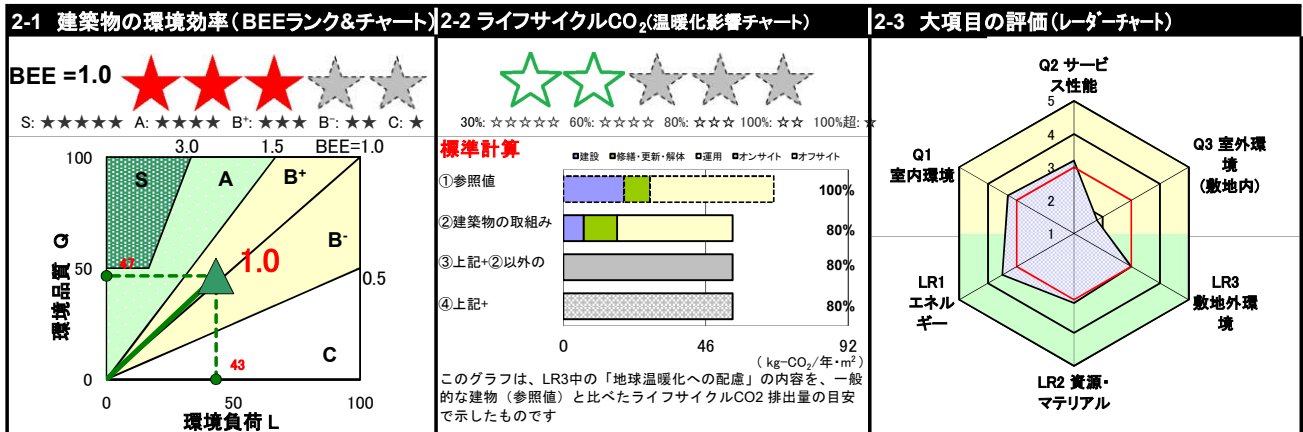


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市高谷計画	階数	地下1階/地上7階
建設地	藤沢市高谷132番5, -6, -7, -8, -9	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域/準防火地域	平均居住人員	144 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2023年12月19日
敷地面積	1,142 m ²	作成者	株式会社T設計工房
建築面積	575 m ²	確認日	2023年12月19日
延床面積	3,024 m ²	確認者	株式会社T設計工房

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。	-
Q1 室内環境 遮音性能の高いサッシを採用し、快適な室内環境を整えるよう努めた。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。
Q3 室外環境(敷地内)	-
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。
LR3 敷地外環境	-

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される